

トップ

速報

動画ニュース

動画館

ピースサイト

企画・特集

スポーツ

釣り

天気

お買い物

8月8日のながさきニュース

長崎新聞

平和公園で笑顔と希望の傘満開 国内外で震災被害の子ら撮影



平和祈念像の前に開いた笑顔の傘＝長崎市
平和公園

笑顔の力で世界平和を。子どもたちの笑顔を印刷した傘100本を広げ、平和と核兵器廃絶を訴える「メリー・アンブレラ・プロジェクト」が7日、長崎市の平和公園などであった。

被爆65周年を機に東京のアートディレクター水谷孝次さん（59）が企画し、県内のデザイナーや学生、旅行者らが参加。平和祈念像前では「子どもたちの笑顔は未来への希望です」との水谷さんの掛け声で一斉に傘を開いた。

直径1・2メートルの傘に印刷されたのは、震災に遭った中国四川省やインドネシア・バンダアチェ、神戸で、水谷さんが撮影した子どもたちの写真。ずらっと並んだ大写しの笑顔が、

被爆地を訪れた人の目を引いた。

長崎市岩屋町の平林裕子さん（41）は長男の小学6年、孝啓君（11）と一緒に参加。「平和イベントに初めて参加したが、すてきな試み。息子が笑顔で人生を送れる世界をつくっていかないといけない」と話した。